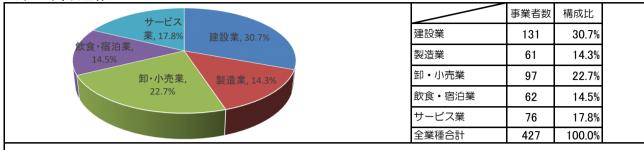
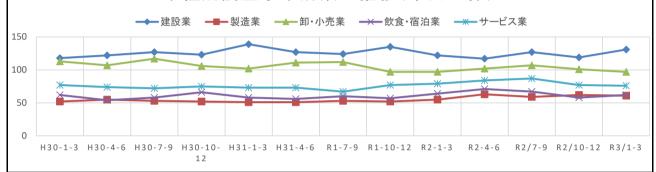
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<十日町市内全体>



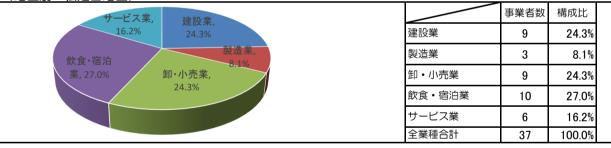
業種別調査事業所数の推移(市内全体)



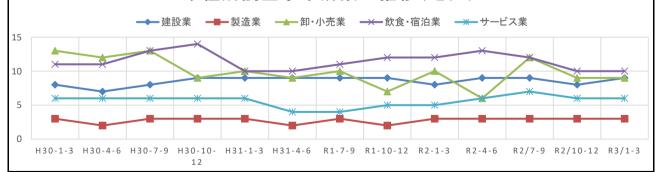
<コメント>

今回の調査は、十日町市内の427事業所から回答を得られ、前回調査よりも10事業所増加している。 卸・小売業とサービス業の回答数が若干減少したものの、前回調査時の回答割合と大きな差は無いもの となっている。

<地区別:松之山地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



<コメント>

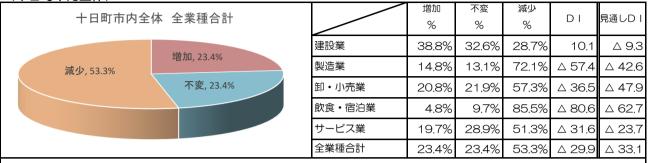
松之山地区の今回の調査回答状況は、配布64事業所の内37事業所から回答があり、回収率57.8%であった。前回調査時よりも1事業所増加しており、業種別構成割合も大きな変動は無いものとなっている。

D I 値 (景況判断指数) = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

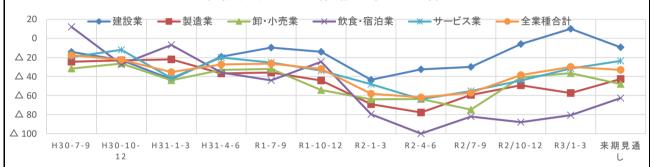
1. 売上について

・1月~3月の売上は前年の同期に比べてどうですか?

<十日町市内全体>

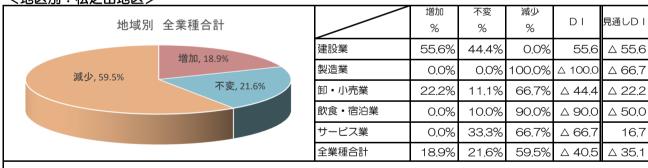


業種別売上の推移(市内全体)



<コメント> 十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△29.9ポイントで、前回調査時より も8.7ポイント増加となっている。製造業以外の業種にて増加となっており全体の値を引き上げている。 来期見通しでは製造業、飲食・宿泊業、サービス業にて増加予測されているが、建設業と卸・小売業に て減少予測があり、全体DI値では今期よりも減少となっている。

<地区別:松之山地区>



業種別売上の推移(地区別)

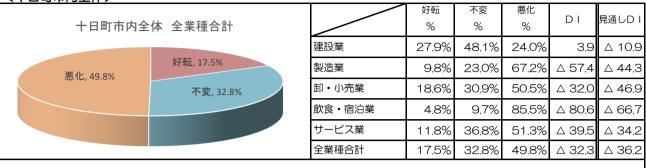


<コメント> 松之山地区の今期の売上状況は、全業種DI値で△40.5ポイントで、前回調査時よりも1.2ポイント増加している。建設業にて大幅な増加があったが、その他の業種は減少しており、特に製造業の減少幅が大きく出ている。来期見通しは今期と逆転して、建設業で大幅減少予測があり、その他の業種で増加予測されている。

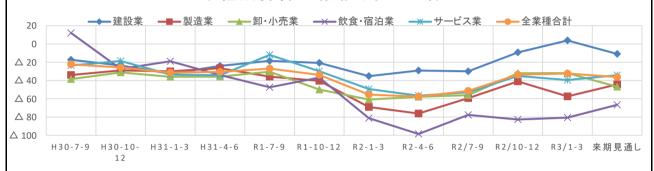
2. 採算について

・1月~3月の採算は前年の同期に比べてどうですか?

<十日町市内全体>

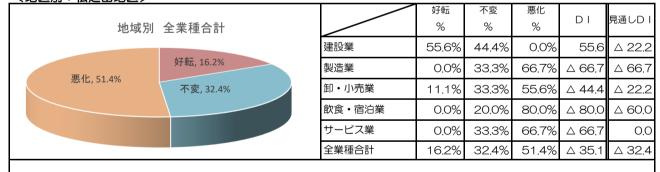


業種別採算の推移(市内全体)

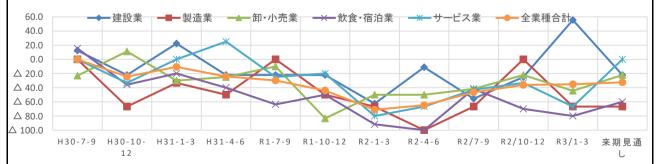


〈コメント〉 十日町市全体の今期の採算状況は、全業種DI値で△32.3ポイントで、前回調査時よりも1.3ポイント好転している。製造業とサービス業にて悪化となっているが、建設業と飲食・宿泊業の好転により全業種DIの値となっている。来期見通しでは、建設業と卸・小売業にて今期よりも悪化予測されているが、その他の業種で好転予測があり、全業種で見た場合は大きな変化は無いものと思われる。

<地区別:松之山地区>



業種別採算の推移(地区別)

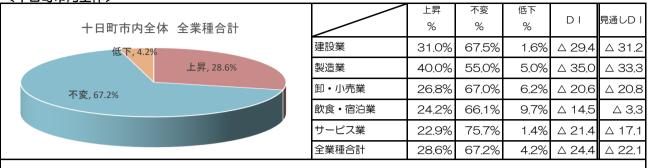


<コメント> 松之山地区の今期の採算状況は、全業種DI値で△35.1ポイントで、前回調査時よりも 1.0ポイント好転している。売上状況と同様で建設業にて大幅な好転があったものの、その他の業種は悪 化している。来期見通しも売上状況と同様の波形が出ており、実際の数値に注視したい。

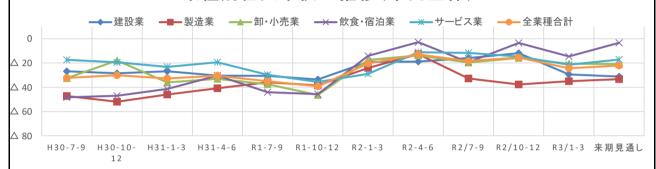
3. 仕入単価について

・1月~3月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか?

<十日町市内全体>

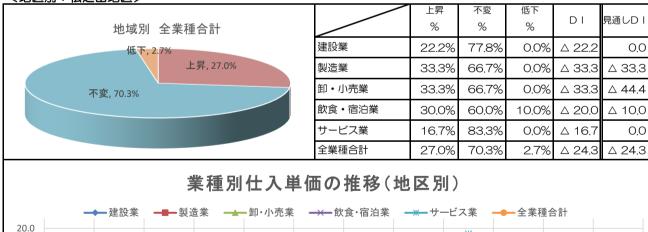


業種別仕入単価の推移(市内全体)



〈コメント〉 十日町市内全体の今期の仕入単価の状況は、全業種DI値で△24.4ポイントで、前回調査時よりも8.9ポイント上昇している。製造業にて低下が見られたものの、その他の業種は上昇となっている。ただし、不変回答が半数以上を占めていることから、大きな変動は無いものと推測したい。来期見通しにおいても今期と大きな変動は無いものと思われる。

<地区別:松之山地区>



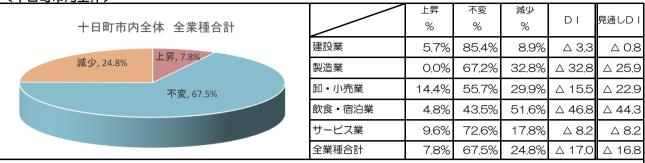


<コメント> 松之山地区の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△24.3ポイントで、前回調査時より もO.7ポイント低下している。建設業にて上昇が見られたが、卸・小売業で低下となっており全体数値の 変動が少なかった。来期見通しでは業種により予測は違うが全業種では大きな変動は無いものと思われ る。

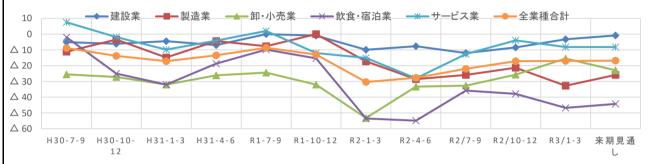
4. 販売(客)単価について

• 1月~3月の販売(客)単価は前年の同期に比べてどうですか?

<十日町市内全体>

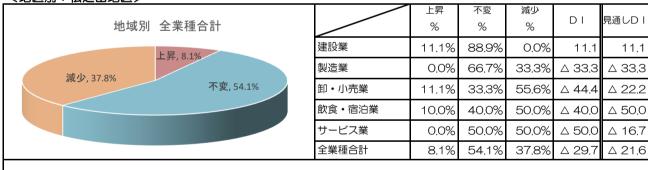


業種別販売(客)単価の推移(市内全体)

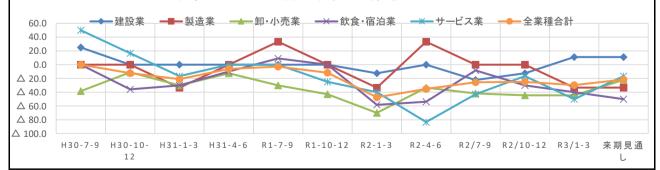


<コメント> 十日町市内全体の今期の販売(客)単価の状況は、全業種DI値で△17.0ポイントで、前回調査時から0.2ポイント上昇している。製造業、飲食・宿泊業、サービス業にて減少が見られるが、建設業と卸・小売業にて上昇があり、全業種では前回調査時とほぼ同様の数値となっている。来期見通しにおいても、大きな変動は無いものと思われる。

<地区別:松之山地区>



業種別販売(客)単価の推移(地区別)

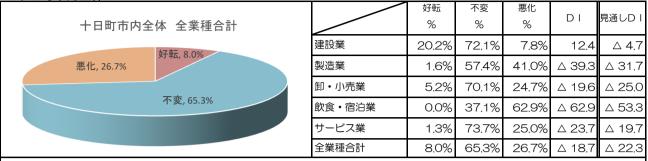


<コメント> 松之山地区の今期の販売(客)単価の状況は、全業種DI値で△29.7ポイントで、前回調査時よりも4.7ポイント減少している。建設業で上昇が見られたが、製造業と飲食・宿泊業、サービス業にて減少となっている。来期見通しでは卸・小売業とサービス業で上昇予測はあるが、飲食・宿泊業は今期よりも減少予測されている。

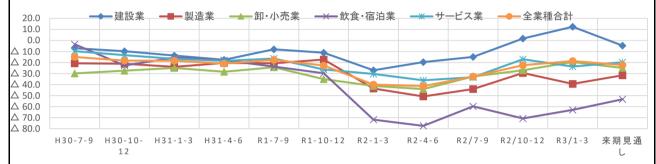
5. 資金繰りについて

1月~3月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか?

<十日町市内全体>

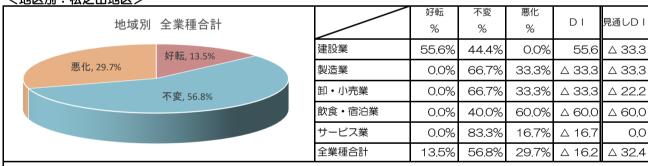


業種別資金繰りの推移(市内全体)



<コメント> 十日町市内全体の資金繰り状況は、全業種DI値で△18.7ポイントで、前回調査時よりも3.7ポイント好転している。製造業とサービス業にて悪化しているが、その他の業種で好転している。来期見通しでは建設業と卸・小売業で悪化予測があるものの、その他の業種は今期よりも好転予測があり、全業種では大きな変動は無いものと思われる。

<地区別:松之山地区>



業種別資金繰りの推移(地区別)

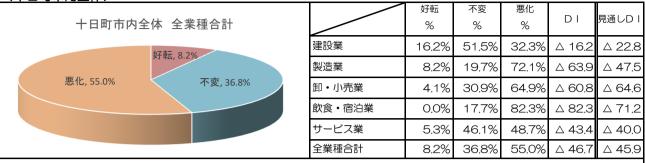


<コメント> 松之山地区の今期の資金繰り状況は、全業種DI値で△16.2ポイントで、前回調査時より も19.9ポイント好転している。建設業にて大幅な好転が見られたものの、その他の業種は前期と横ばい 状態となっている。来期見通しでは、卸・小売業とサービス業で好転予測があるが、建設業での大幅な 悪化予測があり、全業種DIも今期よりも悪化予測となっている。

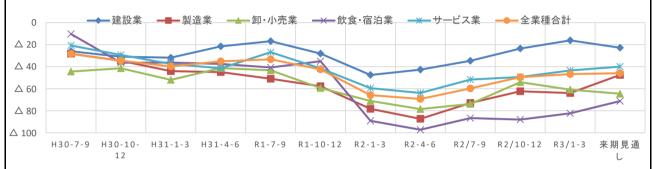
6. 景況判断について

・1月~3月の景況は前年の同期に比べてどうですか?

<十日町市内全体>

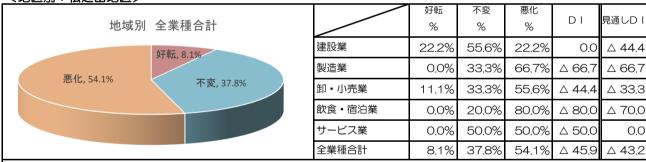


業種別景況判断の推移(市内全体)

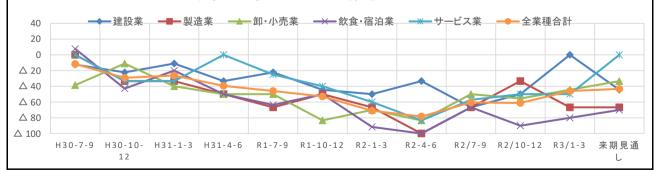


〈コメント〉 十日町市内全体の今期の景況判断は、全業種DI値で△46.7ポイントで、前回調査時より も2.8ポイント好転となっている。製造業と卸・小売業で悪化となっているが、その他の業種は好転を示 している。来期見通しは、建設業と卸・小売業で今期よりも悪化予測されているものの、その他の業種 で好転予測されており、全業種では若干の好転予測となっている。

<地区別:松之山地区>



業種別景況判断の推移(地区別)

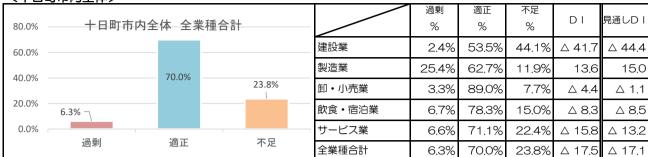


<コメント> 松之山地区の今期の景況判断状況は、全業種DI値で△45.9ポイントで、前回調査時より も15.2ポイント好転となっている。製造業にて悪化が見られたが、その他の業種で好転している。来期 見通しでは建設業で悪化予測があるが、卸・小売業、飲食・宿泊業、サービス業での好転予測があり、 全業種DIも今期よりも好転予測となっている。

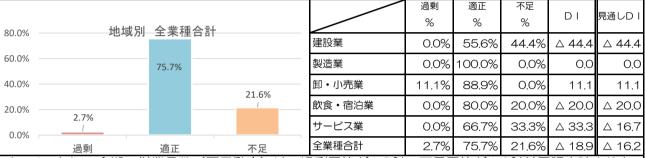
7. 従業員数について

・1月~3月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか?

<十日町市内全体>



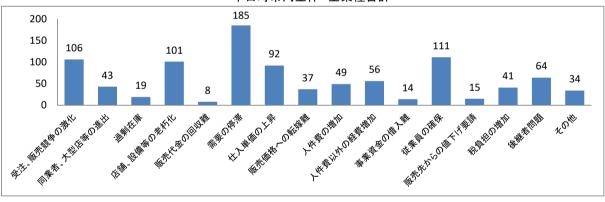
<地区別:松之山地区>



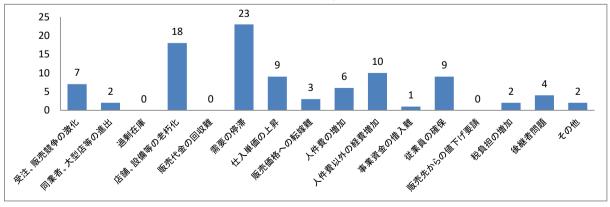
<コメント> 今期の従業員数(雇用動向)は、過剰回答が1.8%、不足回答が1.6%前回調査時よりも増えている。松之山地区の状況は、前回調査時と大きな変動は無かったが、過剰回答割合が0.1%減少し、不足回答割合が1.6%増えている。建設業、飲食・宿泊業、サービス業での不足割合が市内全体よりも高く出ている。

8. 経営上の問題点(上位3つ):1月~3月

十日町市内全体 全業種合計



地域別 全業種合計



<コメント> 今回調査での経営上の問題点は、3位と4位の順序が変わったが、1位から4位までの内容は同じであった。5位の「仕入単価の上昇」が前回調査時よりも急激に多くなっている。 松之山地区の経営上の問題点は、1位「需要の停滞」2位「店舗、設備等の老朽化」3位「人件費以外の経費増加」と前回調査時と同じだったが、「仕入単価の上昇」回答が前回調査よりも多く回答されていた。

9. 地区の景況概要

・1月~3月時点での全体概況は

【建設業】

今期の建設業の状況は、昨年末から続く降雪により除雪関係の受注が多くあったものと思われ、各調査項目にて良好な数値回答が出ていた。例年であれば4月に行われる排雪が3月中に行われたこともあり、来期見通しの予測値が例年の数値よりも大きく悪化している。経営上の問題点では、依然「従業員の確保」が多く回答されている。

【製造業】

今期の製造業の状況は、前回調査時の見通し予測どおりの結果が出ており、売上の大幅減少となっている。来期見通しでは売上も今期よりも上昇予測されており、その他の調査項目も今期と同様な数値予測となっており大きな変動はないものと思われる。経営上の問題点では、「需要の停滞」が多く回答されており、ウイルス感染症の影響での経済活動の鈍化が製造業にも反映されているものと予測する。

【卸·小売業】

今期の卸・小売業の状況は、前回調査時よりも売上状況、採算状況にて減少(悪化)があったものの、大きな変動は見られなかった。来期見通しにて売上の増加予測があるものの、仕入単価の上昇予測もあり、実際の数値に注視したいところである。経営上の問題点では、「需要の停滞」と「店舗、設備の老朽化」が依然多く回答されており、次いで「人件費以外の経費増加」が多く、消費税率が10%になった影響が出てきているものと推測する。

【飲食・宿泊業】

今期の飲食・宿泊業の状況は、新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大による「まん延防止等重点措置」や「緊急事態宣言」の発令により人流が制限されている影響を大きく受け、各調査項目で悪化(減少)しているものと思われる。来期見通しでは売上の増加予測があるが、ウイルス感染症の終息が見えないこともあり実際の数値に注視したい。経営上の問題点は「店舗、設備等の老朽化」が一番多く回答されている。

【サービス業】

今期のサービス業の状況は、前回調査時の予測どおりの結果が出ており、売上の減少が著しかった。しかし、 来期見通しにおいて売上の増加予測があり、その他の調査項目も今期よりも好転(増加)するものと思われる。経 営上の問題点では、1位が「需要の停滞」となっているが、僅差で「店舗、設備等の老朽化」「人件費の増加」「後 継者問題」が同数で多く回答されている。